



ひとはみんなのために みんなはひとりのために

多世代共生のための居場所

# ユニバーサルステーション

【開室日】毎週月・水・木曜日 【時間】10:00～14:00 【開室日数】144日

【参加者】子ども 889名 大人 1,706名 ボランティア 483名 スタッフ 762名

## 不登校の子どもたちが安心していただける居場所づくり



学校でたくさんの仲間たちと一緒に過ごすのが苦手など様々な理由から不登校を選んだ子どもたちに、地域の多世代、多様な生き方をしている大人と出会い交流する居場所が、ユニバーサルステーションです。参加している大人のなかにも、生きにくさを抱えている人、障がいのある人、元気いっぱいの中老年、外国籍の人、小学生から最高齢89歳までが集う場です。一つ屋根の下で、ごはんを一緒に食べ、自分のできごとに取り組み、おしゃべりし、賑やかな時間を過ごしています。

学校に行くことが出来ない子、行かない子には、理由がなにかしらあります。生きにくさを抱えている子が多く、デコボコした特質を持っていることも多いです。そのために対応に大変な思いをしたり、やり方に納得できなかったり、色々な環境が気になり過ぎたりしています。コミュニケーションが得意な子どももありますが、上手く言葉に出来ないこともあります。その原因をサポートすることで、伸び伸びとした環境を得られるようになる子どもいます。「あなたはひとりではないよ!」と近くで言い続けることで、明るい明日が来ると思っています。ホットステーションではそのような子どもたちの日常に寄り添っています。進学、就職の気持ち作り、学習、高校進学書類作りなどをサポートしています。将来は自分の好きなことを仕事にできるよう、子ども時代を大事に生きてくれるように願っています。2023年は不登校や不登校気味であった9人の中学3年生が受験し、それぞれが自分の道を見つけました。

## 手仕事で活動を応援



「子ども村ホットステーション」の役にたちたい、ボランティアとして参加したいという気持ちで参加している大人のみなさんは、ラベンダーの小物づくり、玄米アイピローづくりをし、地域のイベントで販売したり、支援をしていただいている企業等へのお礼用のマスクセットづくりを取り組んでいます。型紙にあわせて布を切る、縫う、ボブリーをいれる、リボンをつける、袋詰め、シールを貼るなど、自分の得意とする作業を選び、助け合いながら完成させます。

また、子どもの居場所活動を取り組む仲間のサザンクロスさんが取り組むランドセルのリユース活動もお手伝いしています。ランドセルをきれいに磨き、あらかわ子ども応援ネットワークのパントリーで配布しています。

## 季節の野菜いっぱい おいしい昼食を提供

野菜、調味料、お肉などたくさんの食材のご支援をいただき、ボランティアさんたちの協力を得て、最高においしいお昼ご飯を提供しています。また、病気で食事を作ることができないご家族へも、お弁当にし提供しています。

## 2023年度、みんなで取り組んだこと

### みんなでご飯づくり

お好み焼き、焼きそば、恵方巻、クリスマスケーキも作って食べました。

### 鯉登さんの音楽教室

子どもたちが楽器にふれ音楽を楽しむ、お向かいのグループホームかりの高齢者のみなさんと一緒に昭和歌謡を楽しむ時間を取り組みました。

### ケリーさんの英会話教室

月1回、アメリカ人のケリーさんによる簡単英会話の時間、大人も子どもと一緒に楽しみながら英語にふれました。

### 宇佐美さんのお習字教室

月1回 心落ち着かせ筆をもち書道を楽しみました。

### 下町紙芝居の会による紙芝居上演

月2回、ボランティアさんの紙芝居の熱演を楽しみました。



### 東京都立大学荒川キャンパス青鳩祭に出店

子どもたちのアイデアでダンボールを使った手作りとユーホーキャッチャーとボールあてゲームを参加の親子も楽しみました。ラベンダーの小物、アイピローの販売もしました。

### 一日乗り放題乗車券の旅

地下鉄一日乗車券を利用し、昼食代ひとり500円の範囲でというルールを決め3班にわかれ電車の旅を楽しみました。

### 桜と尾久の原公園で段ボールハウスづくり

桜の下で段ボールを使い、いろいろとアイデアを出し合い子どもたちが家づくりにチャレンジ楽しかった!

### 町屋ふれあい館でスポーツ

町屋地区の子ども居場所活動を取り組む仲間たちの情報交換のなかで生まれた活動です。月に2回、ふれあい館の体育室で卓球、バスケットホールなど思い切り身体を使って楽しむ時間です。



# 放課後クラブ

【開室日】毎週月・水曜日 【時間】17:00～19:00 ※長期休みは昼間の時間帯に変更になります。

【開室日数】91日 【参加者】子ども 797名 ボランティア 244名 スタッフ 394名

学校での生活がなかなか馴染めない子、友達を作るのが苦手な子が沢山います。そのような子ども達に丁寧に寄り添いながら子ども達の居場所を作っています。子ども達にとっても感じていたこと、考えていたことを話し学校でわからなかった学習のやり直しをするなど、「素の自分である場所」になっていくことを願っています。

## 学習サポート 01



学校でわからないままになっていたことを振り返ってやり直しをしています。小さな「わかる」を積み重ねていくことで、「わかる」が楽しいことになっていきます。「わかる」が増えることで、自信を持つことが出来る自分になっていきます。



## ご飯の提供 03

家でひとりでご飯を食べている子、食事時間が遅くなる子達があります。そこで夕食を提供し、皆一緒にご飯を楽しく食べています。調理スタッフが作ってくださった料理の配膳、食事、片付けを通して誰かと時間を共有する楽しさがあります。また月に1回子どもだけで自分達のご飯を作る日もあります。

アウトリーチ活動では、家にもっている子どもの自宅を訪問し、子どもの気持ちの波に寄り添いながら大体3ヶ月を一つの期間としてサポートをしてきました。期間の後半には目標を作り、近くの公園に遊びに行く、ホットステーションに来てみるなど、家の外に出掛ける繋がりを設けました。また、子どもに合わせて、自立していく方向に数人のスタッフでサポートをすることも実施しました。「あなたのことを気にかけているのが保護者だけではない」ことをスタッフ達が語りかけてきました。どの子もアウトリーチ実施以前よりも外の風に触れ、自分の世界の外にあるものにも顔を少しずつ向けるようになりました。今回のアウトリーチがきっかけとなり、次のステップに行く事が出来るようになること良いと思います。今後も子ども達、保護者の方々との連絡をとりながら、大体3カ月サポートを続けます。

## 対象となる子ども

- ・学習が苦手な子
- ・なかなか居場所の見つからない子
- ・自宅で1人で居ることが多い子



## 遊びの場 02

年齢の異なった子や、自分とは違う学校に通っている子と一緒に遊びながら、周囲の子ども達と折り合いをつけ、お互いの表情を見て「ワクワクとした楽しさ」を体験しています。室内遊びだけでなく、近隣の公園に出掛けて行き、みんなで遊ぶこともあります。



## 荒川区子どもの居場所づくり事業 アウトリーチ

### 実施について

実施件数 ..... 5件

自宅、その他への訪問回数 ..... 41回

### 子どもの置かれた状況

買い物には出る ..... 2件

自分の家をあまり出ない ..... 1件

学期に1回学校に行く ..... 1件

週1～2回学校に行く ..... 0件

その他 ..... 1件

2023

荒川区子どもの居場所づくり事業

子どもの居場所

# 中高生ホットステーション



## 中高生ホットステーションの一日

「中高生ホットステーション」は2024年で10周年を迎えます。当初は生きにくさを持つ中学生・高校生を支援する居場所として始まりました。「ソーシャルファミリー」の理念のもと、生活の中で子どもに寄り添うことを通して、不安定な中にあるさまざまな子どもの生活を支えています。現在は毎週木曜の17～21時に開き、小学生から高校生まで毎回10～20人ほどが来ています。それでは、普段のホットステーションの一日を見てみましょう。

### 17:00 まずは学習の時間

17時になると、バタバタと足音や声でにぎやかになってきます。来てから最初の30分は学習する習慣をつけることを目標にしています。



### 17:40

#### 近くの公園へGO!

学習の時間が終わったら、行きたい子はすぐ裏の公園へ。溜まったエネルギーを兔っこで発散させています。



### 18:10 みんなで夕ごはん

調理スタッフや女性団体の方々が作ってくれた栄養の整った温かいごはんをみんなでいただきます。配膳は協力して、お血洗いは自分で。



### 18:50

#### ゲームでのびのび

食事が終わったら、思い思いに過ごしています。集まってボードゲームをしたり、テーブルで卓球したり。ソファでゆっくりおしゃべりしている子も。



### 20:00 小学生は帰りの時間

帰りの会が終われば、小学生は帰る時間。なかなかエネルギーは尽きませんが、次の日のために取っておきます。



### 21:00

#### 中高生も解散!

20時以降も残っている中高生はスタッフの大人と一緒にわいわい過ごしています。



【活動日数】50日

【参加者】小学生306名 中学生354名 高校生124名  
その他51名 ボランティア740名  
見学者等142名

【学習・体験事業】21日

【参加者】小学生89名 中学生78名 高校生29名  
その他2名 ボランティア83名 見学者等15名

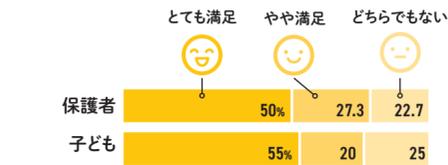
## ボランティアの声

### 高橋さん(大学生ボランティア)

学生ボランティアとして約一年間活動していて、子ども達が年齢の壁を越えて関わり、多くの良い刺激を受けることができる場所がホットステーションだと感じています。同年代に限らず、ホットステーションには小学生からスタッフの方まで幅広い年代が集まり、賑やかです。だからこそ、子ども達にとっては、コミュニケーションにおいて、遊びや談笑なども通して刺激を受けられる貴重な場になっているのではないのでしょうか。学生ボランティアの一人として子ども達に提供できるものは何かを考え、活動を継続しています。

## 活動の成果

### ホットステーションへの満足度



## 保護者の声

- どんな子でも見放さない。支援しようとしていただけると勝手に感じていました。
- 学校以外にも居場所がある、学校に行かなくても生活リズムを整えるという意味で大変助かっています。

(アンケートから、一部抜粋)